

## 令和元年度（2019年度）事業報告

新年度になってすぐ、5月に本部を移転しました。裏には神社がありとても静かな場所で、心機一転新たなスタートとなりました。室内も事務所というような雰囲気ではなく落ち着いた家庭的なもので、利用者やヘルパーが安心できる場所として行き来してほしいと、また念願だった宿泊体験室の整備も進めています。しかし、移転後の整備がなかなか思うように進まず、宿泊体験室の利用はようやく2月になり、まずは3名の利用者が食事作りをする一時利用を始めることができました。スロープの設置についてはできなかったため来年度早急に完成させたいと考えています。

4月から女性ヘルプ事業部では非常勤職員が1人増えました。昨年度より安定した介助派遣を提供するため、また新規利用者との契約を行うことができ、介助の幅が広がりました。加えて行動計画にも挙げた産前産後休暇・育児休暇の取得を行った女性職員が無事に復職をしました。これは社会の中でも大きな課題となっているものであり、これからも安心して仕事を行える環境を作っていきたいと思えます。

今年度は研修会に力を入れました。その中で最も反響の大きかった会は、7月に開催した映画「道草」の上映会とその映画の主な出演者のご家族で早稲田大学教授の岡部耕典さんをお招きしての講演会でした。岡部先生のお話は知的障がいがあっても地域で自立生活していくための実践的なお話で、今後の法人の活動にとってとても参考になりました。またこの会には本法人の事業を利用しているご本人やご家族の方、区内の他事業所の方にもお越しいただき、その方々と意見交換もでき、とても良い会を開催することができました。

11月には、世田谷区主催の相談支援員初任者研修に法人職員が2名受講し、相談支援員としての資格を取得することができました。今後の事業展開に一つ幅ができ実際に事業として開設するか、法人内で議論をしていきたいと考えています。

事業収支に関しては、収入において10月に介護給付費の単価改訂と新たな処遇改善加算が追加され、収入額に変動が生じました。しかし年間を通しては、利用者の利用が減ってしまいました。大きな要因としては、①慢性的な人員不足で利用者へ安定した介助者派遣が難しくなり他事業所と協力する必要に迫られたこと、②家庭内外でトラブルを起こすことが多くなり、ご家族が対応できず施設入所を選択されたこと、ということが挙げられます。②について法人として、ご本人やご家族ともっと早い段階で話し合いをし続けていれば、結果とは違った生活スタイルを築けていたのでは、と反省するばかりです。今年度は収支に関しては厳しい状況となりましたが、それを打破するため、来年度に向け体験室利用を増やすべく利用者へ声を掛け、新規利用者との契約などを進めていました。

ところが2020年になり今後の法人の活動のみならず世界の仕組みを変えてしまうかもしれないことがおきました。中国で発生した新型コロナウイルスは、1月に入り国内でも感染者が確認され始め、日を追うごとに都内での感染者数も増えていきました。ニュースでは障がい者・高齢者の介護施設での集団感染の発生も多く報道され、利用者の生活だけではなく、支援する職員・登録ヘルパーの生活にも大きな影響を与えました。当法人では、2月に利用者の外出介助に影響が出始め、3月には外出介助のみならず、在宅介助にもキャンセルが相次ぎました。感染を防ぐためのマスクやアルコール消毒液は手に入らなくなり、行政の対応や情報提供も鈍く、法人にとって手探りの日々が続き、危機管理、危機対応が大きな課題となりました。

新年度になっても新型コロナウイルスは猛威を揮い続け、全世界の経済や人々の生活に影響を及ぼしています。今後の行き先は全く読めませんが、支援を必要としている利用者の生活は続いています。それを支援する従事者は感染対策に細心の注意を払い、事業継続と双方の生活を守らなければなりません。衛生物品の確保と支給、情報収集と共有、自己の体調管理を徹底し、油断せずこの状況と向き合い続けていきたいと思えます。

①派遣実績について

●利用者人数

●制度別・利用者人数

	男性／人数	女性／人数		男性／人数	女性／人数
利用者	33人	15人	居宅介護	13人	2人
			重度訪問	12人	7人
			移動支援	21人	7人
			修学支援	2人	0人
			有償介助	4人	1人

令和2年3月31日時点

●新規契約・利用者

●契約終了・利用者

	男性／人数	女性／人数		男性／人数	女性／人数
利用者	1人	2人	利用者	2人	1人

令和2年3月31日時点

●前年度比較、制度別利用時間数

図1～図3. 男性（重度訪問・居宅介護・移動支援）

図4～図6. 女性（重度訪問・居宅介護・移動支援）

図7～図8. 有償介助サービス

表1. 総利用時間数（前年度比較）

②人事について

●従業員・総人数

職種	常勤(人)	非常勤(人)	資格等
管理者	1人		介護福祉士
サービス提供責任者	4人	4人	介護福祉士
ヘルパー	男性 2人 女性 2人	男性 23人 女性 10人	介護福祉士、訪問介護員2級、実務者研修、 介護職員初任者研修、重度訪問介護従事者研 修等
事務員	0人	0人	

令和2年3月31日時点

●職員、ヘルパー募集

今年度職員募集はハローワークとホームページへ掲載。他募集方法は職員、ヘルパーの紹介。

	職員		ヘルパー	
	男性	女性	男性	女性
応募	0人	1人	4人	2人
採用	0人	1人	3人	2人

令和2年3月31日時点

●退職者

	職員		ヘルパー	
	男性	女性	男性	女性
	0人	0人	1人	3人

令和2年3月31日時点

③交流会・研修会について

	交流・研修名	参加人数
研修会	映画「道草」上映会と講演会 開催日：7月13日（土） 講師：岡部耕典さん（早稲田大学教授）	32人
	心の悩み、精神障害ってなんだろう？ 開催日：8月31日（土） 講師：成田あかねさん（精神保健福祉士）	14名
	これって虐待？権利擁護・虐待防止研修 開催日：9月14日（土） 講師：横山晃久さん（HANDS 世田谷理事長）	10名
	当事者とヘルパーの関係って・・・？続編 開催日：11月16日（土） 講師：実方裕二さん（café ゆうじ屋）	27名
外部研修会	東京都人権権利擁護研修会 開催日：8月26日（月）・29日（木）・9月2日（月） 主催：公益財団法人東京都福祉保健財団	当法人から4名
	世田谷区相談支援専門員初任者研修 開催日：10月18日（金）・21日（月）・22日（火） ・11月7日（木）・8日（金） 主催：世田谷区	当法人から2名

地域参加	雑居まつり 開催日：10月14日（月） 法人の従業員がライブを行い、大盛り上がりでした		
	世田谷区社会福祉法人地域公益活動協議会 開催日：今年度はなし		
研修名	内容	男性／人数	女性／人数
初期研修	ヘルパーの心得、書類の書き方を学ぶ。 採用決定後。	3人	2人
中期研修	実際に介助に入ってみて感想等話す(採用から1～3ヶ月後)。	2人	1人
長期研修	長年働くことで、マンネリ化や慣れを防ぐ。ヘルパー個人の状況を確認する。1年に1回。	17人	6人

図 1.

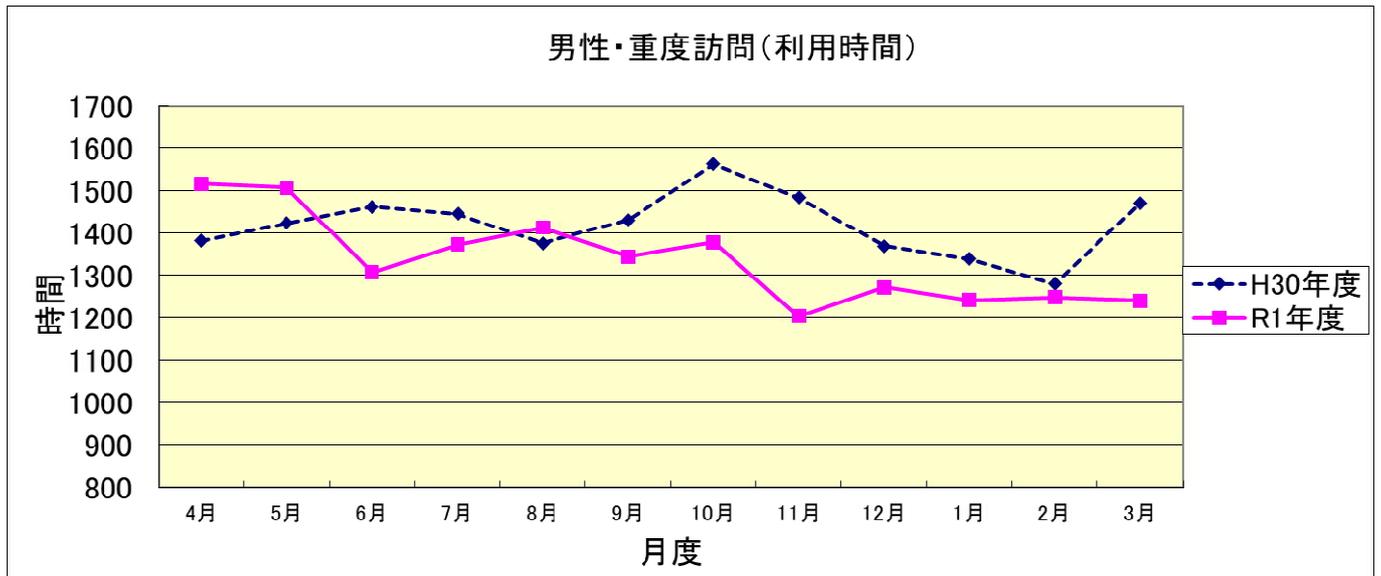


図 2.

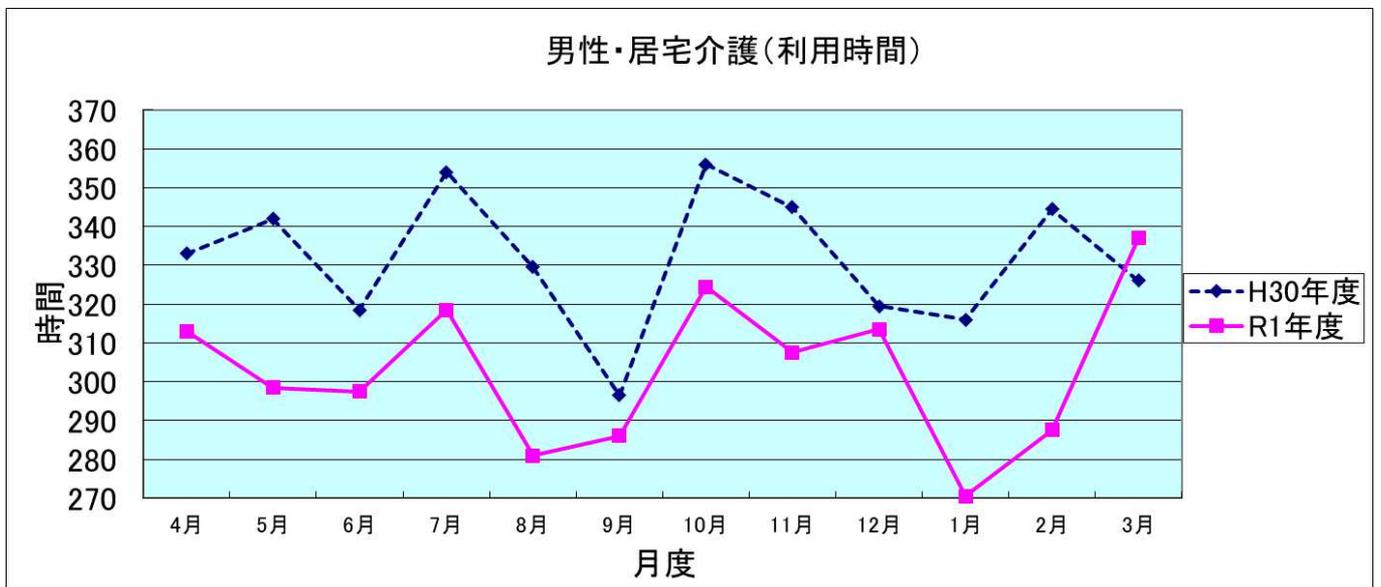


図 3.

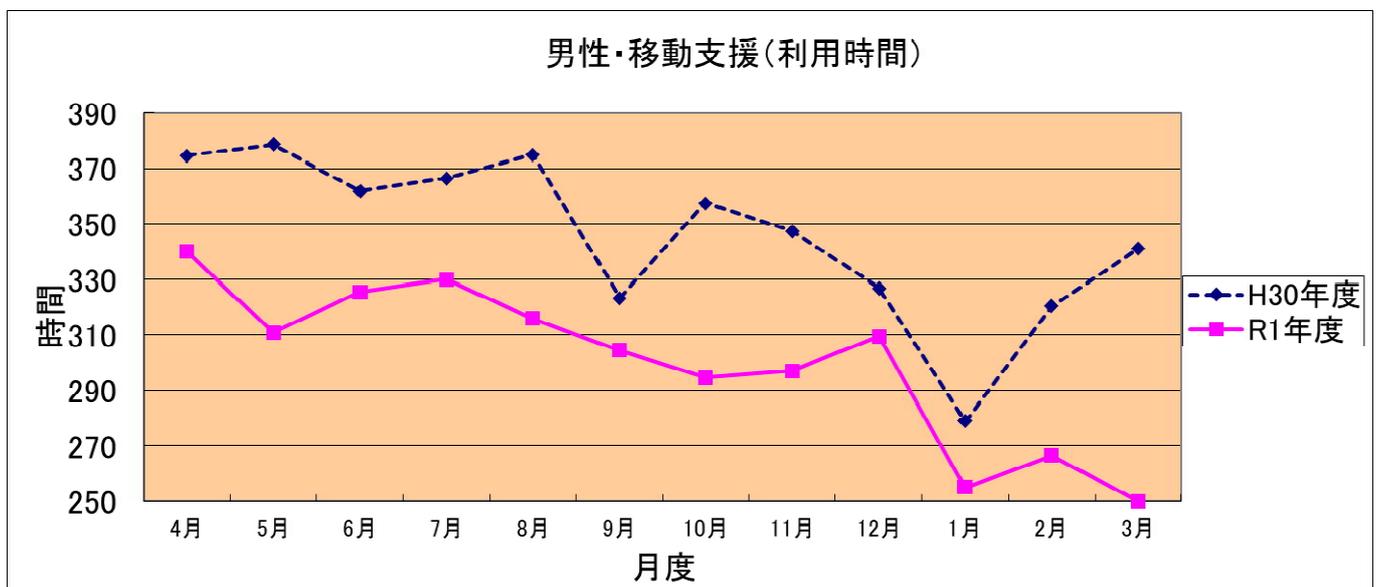


図 4.

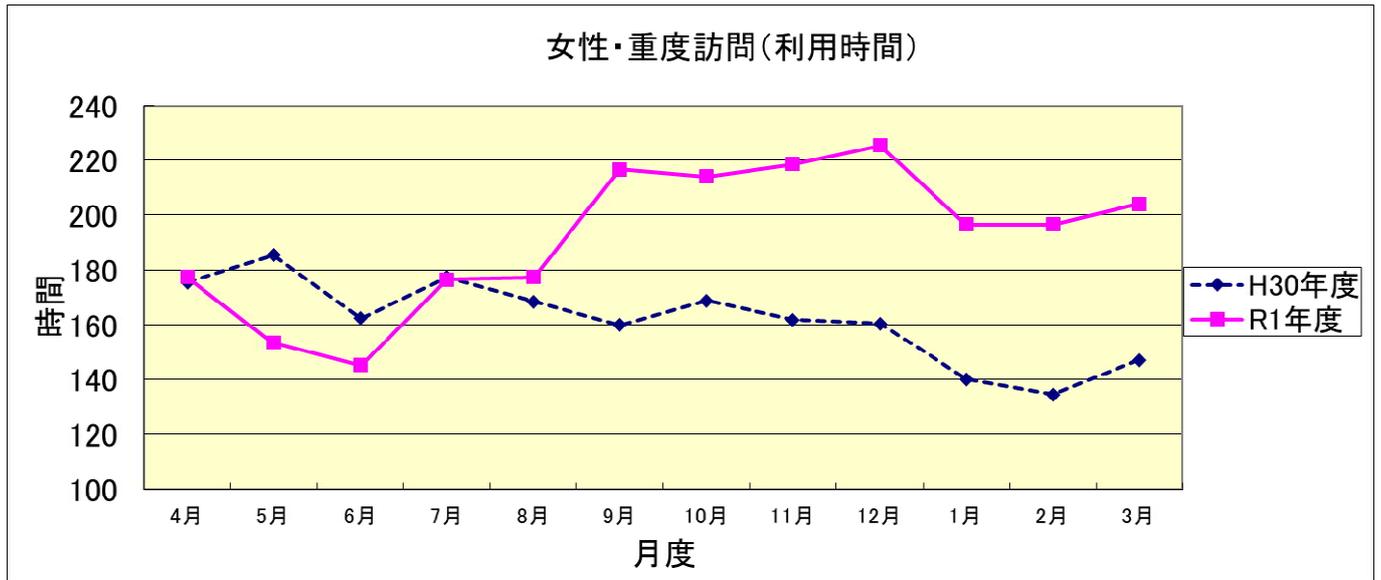


図 5.

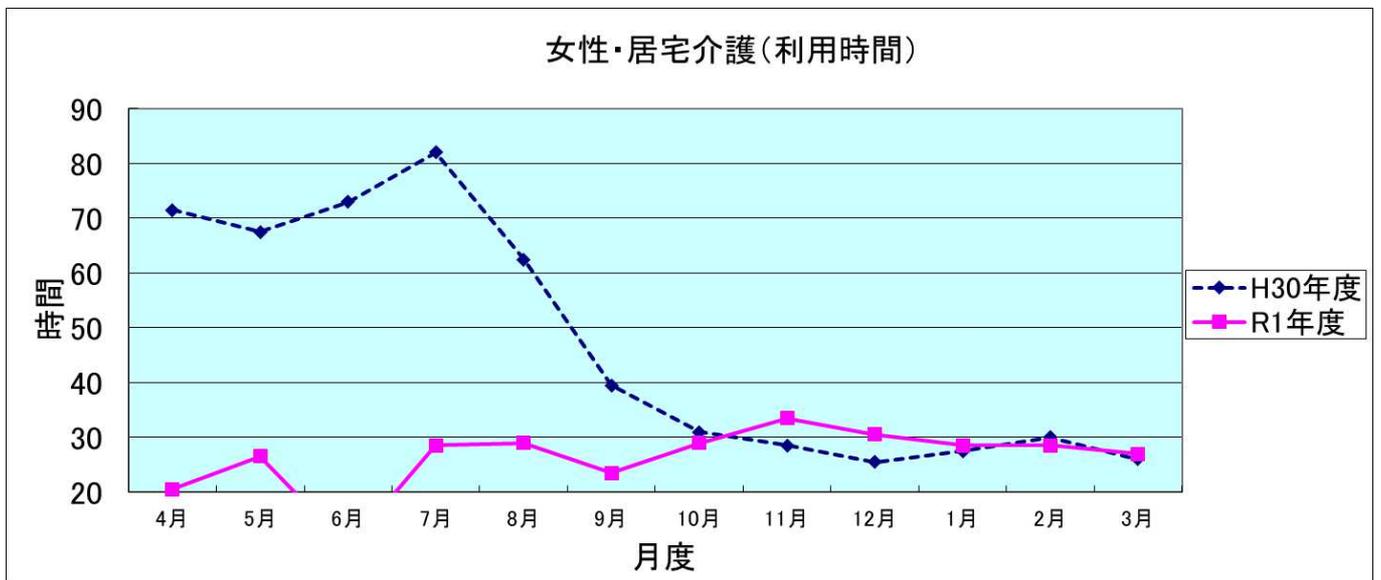


図 6.

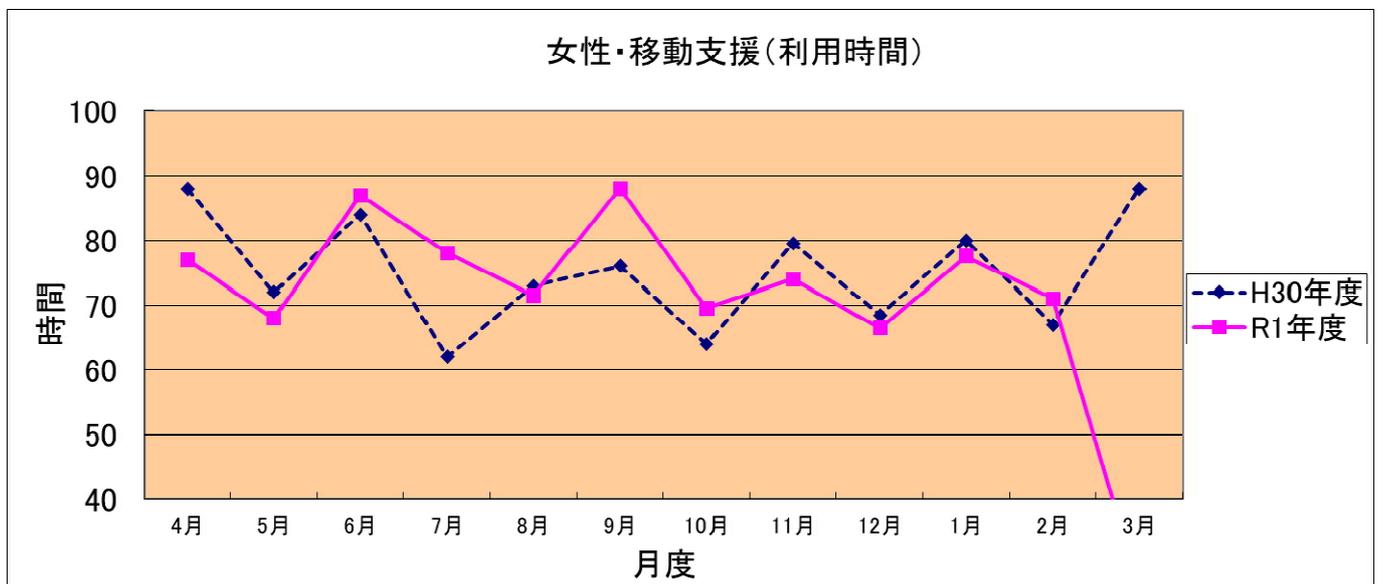


図 7.

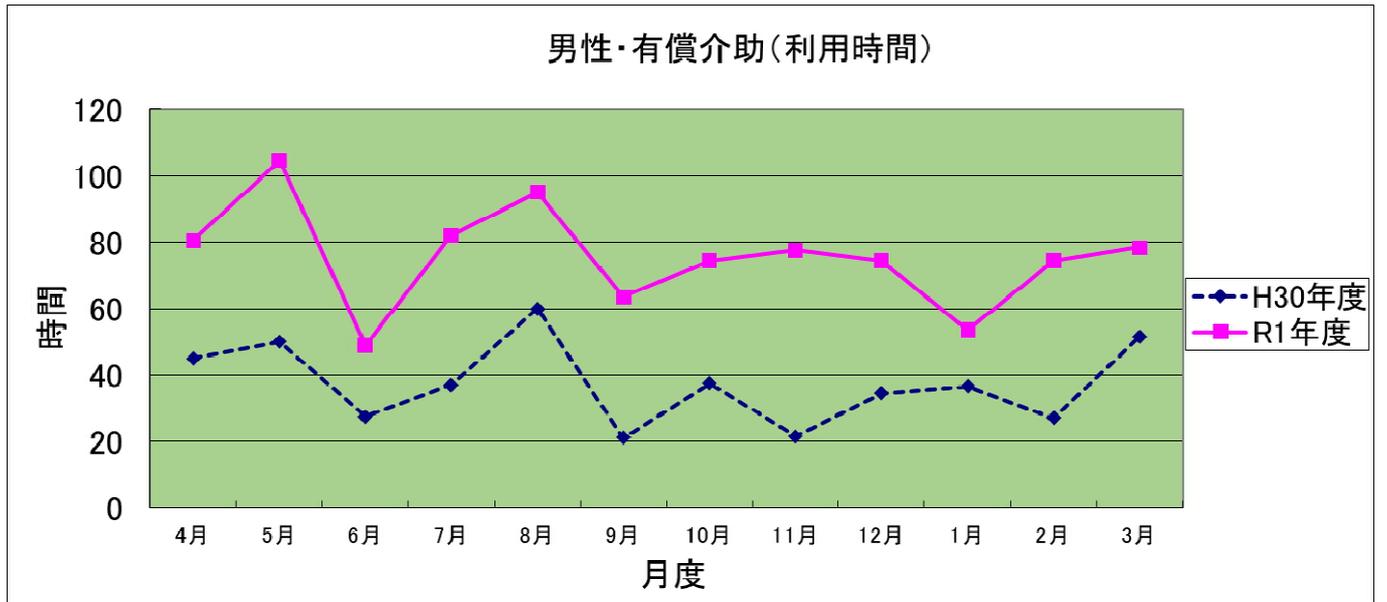
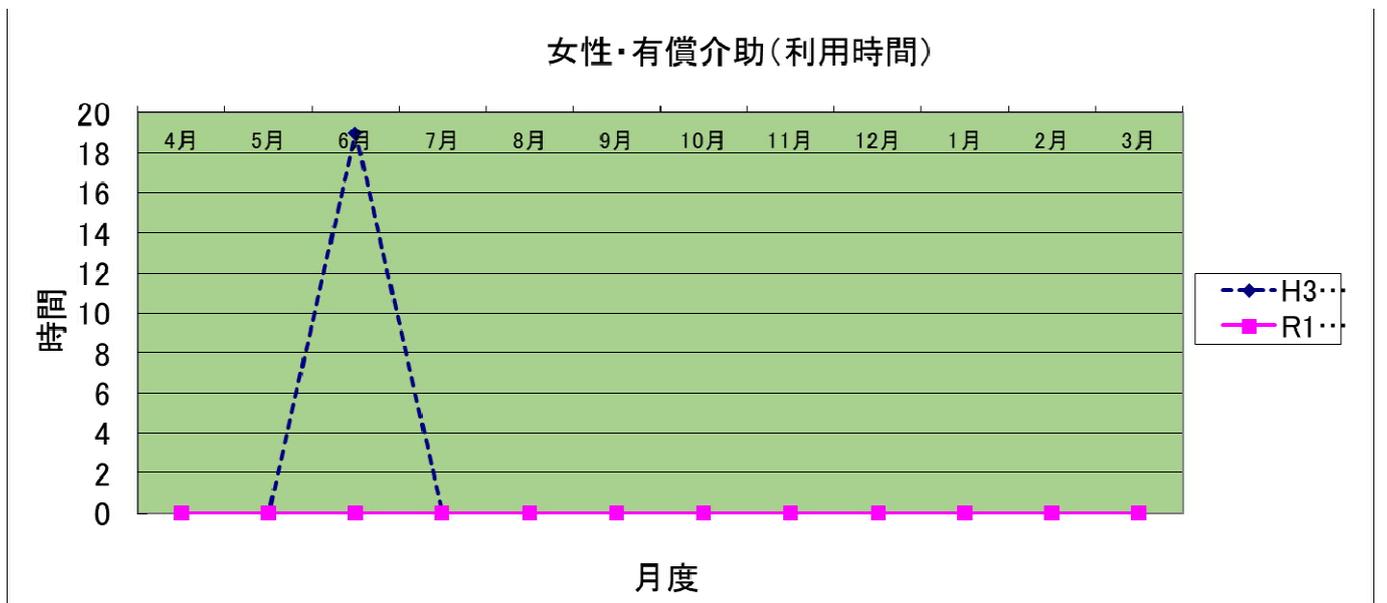


図 8.



## 2019年度・総利用時間数（男女別）

表2  
単位：時間

男性	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
居宅介護	313	298.5	297.5	318.5	281	286	324.5	307.5	313.5	270.5	287.5	337	3635
重度訪問	1516	1508	1307	1372	1412	1344	1377	1204	1272	1242	1249	1241	16042
移動支援	340	311	325.5	330	316	304.5	294.5	297	309.5	255	266.5	250	3600
合計	2169	2117	1930	2020	2009	1934	1996	1809	1895	1767	1803	1828	23276

女性	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
居宅介護	20.5	26.5	10	28.5	29	23.5	29	33.5	30.5	28.5	28.5	27	315
重度訪問	177.5	153.5	145	176.5	177.5	216.5	214	218.5	225.5	196.5	196.5	204	2302
移動支援	77	68	87	78	71.5	88	69.5	74	66.5	77.5	71	26.5	854.5
合計	275	248	242	283	278	328	312.5	326	322.5	302.5	296	257.5	3471

2019年・有償介助サービス時間数（男女別）

表3  
単位：時間

男性	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
H30	45	50	27.5	37	60	21	37.5	21.5	34.5	36.5	27	51.5	<b>449</b>
R1	80.5	104.5	49	82	95	63.5	74.5	77.5	74.5	53.5	74.5	78.5	<b>907.5</b>

女性	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
H30	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<b>19</b>
R1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	<b>4</b>

全体の合計	H30年合計	<b>468</b>	R1年合計	<b>911.5</b>
-------	--------	------------	-------	--------------

表1. R1年 制度・男女別 総利用時間数 (前年度比較)

	重度訪問		居宅介護		移動支援		年間
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
H30	17019	1942.5	3980.5	564.5	4152.5	902	28561
R1	16042	2301.5	3635	315	3599.5	854.5	26747
前年比	-977.5	359	-345.5	-249.5	-553	-47.5	-1814

	有償介助サービス		年間
	男性	女性	
H30	449	19	468
R1	907.5	4	911.5
前年比	458.5	-15	443.5